

## 各学年の話題(5年生)

### 学級状況

殆どの学生が卒業に必要な単位の大部分を前学期で修得しているため、後学期は時間割に空き時間が多くなっています。学生によっては全く授業のない日もあります。卒業研究や自主的な学習に励む学生、学校に顔を見せない学生と、空き時間の使い方は様々なようです。高専祭が11月15日に開催されました。インフルエンザによる臨時休校があったため、準備のため時間が少なくなり大変な作業となりました。その中、メディア5年生は協力して作業を進め、4本の映像作品と名画パロディを制作し、高専祭当日は大盛況で高い評価を受けました。

### 進学・就職状況

5年在学生35名のうち、就職希望が22名(63%)、進学希望が11名(32%)です。就職希望のうち20名が内定を得ましたが、2名の学生が現在就職活動中です。内定を得た企業は、県外が10社11名、県内が8社9名となっています。進学希望学生全員が合格を果たしました。内訳は、県外大学3年次編入が2校2名、琉球大学3年次編入3名、県外専門学校2校2名、専攻科4名となっています。また、2名の学生が休学しました。

### 卒業研究について

メディア情報工学科の卒業研究中間発表を11月4日、12日に視聴覚ホールで実施しました。各々の学生がこれまでに研究した内容を、7分間のプレゼンテーションと3分間の質疑応答で発表を行いました。研究がよく進んでいる学生がいる一方、進捗状況が芳しくない学生もいました。2月の最終発表、報告書提出に向けて、互いに切磋琢磨する良い機会となったと思います。

### 卒業式について

卒業式は3月20日(土)に行う予定です。卒業アルバムの作成、卒業式後の学生主催イベントの企画等を進めているそうです。卒業式には多くの保護者のご出席をお待ちしております。

(5年学科担任:角田 正豊)

## 各学年の話題(4年生)

### 学級状況

インターンシップが終わり、卒研の配属も無事終わりました。この後、就職活動あるいは進学と続きます。この数ヶ月間に重要なイベントがメジロ押しです。11月15日の高専祭はよい息抜きになったのではないのでしょうか。ただ、これからの数ヶ月は息を抜かずに乗り切っていただきたいと思います。最近では、就活や進学において、志望する企業や大学との連絡は、例外なくインターネットを手段として用います。このため、少なくとも来年夏までの期間、自宅にインターネットを備えていただくようお願い致します。企業や学校からの重要な連絡を、休み中のために受け取ることができなかった。このため、入社や入学に支障を来した、といったことが起こらないよう、ご配慮をお願い致します。

### 卒研配属について

先日、卒研配属の調査が終了しました。下記のごとく、各研究室への配属が確定しています。今年の4年生は活発に研究室訪問調査を行い、うまく各研究室に散らばってくれました。配属調査の期間も例年に比べ短期間で終了したことをご報告致します。この後、就活や進学が一段落したら、卒業研究に没頭できるよう準備を進めていただくようお願いいたします。(配属先一覧表は次頁)

### 進路について

就職志望先または進学志望先を調査しました。調査において、学生には保護者とよく相談するよう指導しています。調査結果は、今回の成績所見欄に個別に記載しました。所見欄記載内容が、予期せぬものであった場合、ご一報いただくようお願いいたします。

これ以降も志望先については、インターネット等で情報収集し検討を加えていただきたいと存じます。就活については、一部企業は1月より始まります。来春の企業の採用状況は過去最悪になると予想しています。留意して取りかかっていたください。進学については、大多数が来年4月以降(4~7月に集中)に手続き開始となります。ただ、各大学の都合や受験生の思惑により、試験内容や受験倍率が大きく変化します。志望校・志望学科の細かな情報収集・情勢分析を積み重ねていただきたいと思います。

(4年学科担任:姉崎 隆)

研究室(教員名)	配属決定した学生
角田 正豊 SUMIDA, Masatoyo	上原 央
	兼城 駿一郎
	幸地 英琳
	宮里 友美
正木 忠勝 MASAKI, Tadakatsu	上江洲 かれん
	上原 悠輔
	大湾 ちひろ
	田名 俊和 山内 祥平
伊波 靖 IHA, Yasushi	上里 和寛
	小波津 駿
	砂川 昇吾
	仲本 欣司
姉崎 隆 ANEZAKI, Takashi	新地 彩乃
	大城 優
	兼城 春香
	久貝 美奈子
西村 篤 NISHIMURA, Atsushi	國場 幸紘
	島袋 竜
	奥間 沙織
	奥村 拓也
太田 佐栄子 OHTA, Saeko	喜友名 朝啓
	座間味 愛乃
	ゲン ハン
	平良 里菜
タンスリヤボン スリヨン TANSURIYAVONG, Suriyon	玉代勢 幸大
	前當 祐希
	與那覇 茜
	與那嶺 潤
鈴木 大作 SUZUKI, Taisaku	島袋 誠也
	津波古 涉太
	渡嘉敷 拓馬
	仲栄真 伸
バイティガ ザカリ MBAÏTIGA, Zacharie	比嘉 恵介
	上原 真矢
	加藤 愛実
	我那覇 隆哉
佐藤 尚 SATOU, Takashi	知念 佑奈
	諸見里 圭太
	伊波 真
	大城 大
	大城 潤
	岸本 拓麻
	金城 天望帝
	白崎 史子
	新里 ミック
	松川 将也
	大濱 龍之介

## インターンシップについて

メディア情報工学科 4 年生は 8 月 17 日(月)から 9 月 25 日(金)にかけて、2 週間を基本として、最短 1 週間から最長 3 週間のインターンシップを体験しました。

今年度のインターンシップでは、県内 22 カ所(38 名)、県外 4 カ所(8 名)の事業所等に受け入れをして頂き、全員が事故もなく有意義な体験をすることが出来ました。受け入れをして頂いた事業所の皆様に心より感謝申し上げます。また、インターンシップの実施に伴い、保護者の皆様には物心両面からのご協力を頂き、誠にありがとうございました。

10 月 7 日には、インターンシップ報告会を実施し、全員がインターンシップの内容やインターンシップ先で学んだ事について報告を行い、質疑応答も活発に行われ、有意義な報告会となりました。

(インターンシップ担当:タンスリヤボン・スリヨン)



## 各学年の話題(3年生)

3 年生にとって大きな行事の 1 つ、研修旅行が 9 月 23 日(水)から 26 日(土)までの 3 泊 4 日の日程で実施されました。旅行中、一部発熱した学生が出たため、その学生を病院へ連れて行った後、部屋を別にし、1 日安静にしてもらうということが生じました。しかし、その学生は直ぐに元気を取り戻し、その他に大きな問題もなく、全員無事に戻ってくる事ができました。

先の学科だよりでもお知らせしていました通り、1 日目は羽田空港からホテルまでバスの車窓から東京見物をしながら移動し、その日は終了しました。新人のバスガイドさんが案内する場所についての説明を徹夜で勉強し、私たちのために一生懸命ガイドしてくださいました。2 日目は学科ごとに分かれての研修となり、メディア情報工学科では午前には日本有数の IT 企業である「日本ユニシス株式会社」を見学しました。会社に関する一通りの説明の後、会社内の施設、とりわけ私たちの学科では興味のある学生が多いと思われるサーバーームなどを特別に見せていただいたり、3 年生に年齢の近い新入社員の方々と質問時間などを設けていただきました。午後には「日本科学未来館」で情報技術・生命/医学・宇宙/深海・ロボットなどに関する様々な最先端科学について、見たり聞いたり触れたりすることができました。3 日目は自主研修日ということで、各グループがそれぞれ自由に都内の様々な場所を巡りました。そして最終日の 4 日目には 4 学科全体で JAL 機体整備工場を見学しました。普段見ることのできない巨大な航空機やその保守パーツなどはとても興味深く、様々な物と機械、そして多くの人々が航空機に関わっているということを勉強することができ、良い経験になったと思います。



日本科学未来館にて期待に胸を膨らませる学生たち(3年メディア)



JAL 機体整備工場での説明を終え興奮冷めやらぬ学生たち(3年メディア)

沖縄県から一度も県外へ出たことがない学生にとっては、研修旅行が大都市で移動するということを経験する初めての機会となります。ここで JR や地下鉄、そしてバスなどの交通機関を駆使して、様々な場所へ可能な限り自分たちで設定した時間通りに移動するという経験をしているかどうか、後々、県外でのインターンシップや就職活動を行う人、あるいは県外大学の編入試験を受ける人に対して影響します。これらの経験をした人ならば、大都市でも焦らずスムーズに移動することができると思います。研修旅行では、グループのみんなで考えたルートを様々な交通機関を利用して移動するという経験も含めて「研修」と考えています。

もう1つの大きな行事は高専祭です。本学科の3年生は「舞台」を行うことを選び、11月15日の本番まで一生懸命練習を重ねてきました。しかもこの舞台では1つ仕掛けがあります。それはスクリーンに映し出した映像を効果的に使うというものです。すなわち、この舞台を完成させるためには、舞台監督(脚本制作も兼ねる)、舞台助監督、役者、小道具、大道具、音声(効果音も含む)などの仕事の他、映像を作り、そして編集するという仕事も必要となります。空きスペースでの本読みや立ち位置の確認などの作業が夜遅くまで続きました。更に各シーンを想像しやすいようにする背景画や道具の製作も同時進行し、映像班も撮影や編集で頑張りました。クラス一丸となって頑張った会心の舞台は、学生による高専祭出し物採

点の結果、見事総合第2位を獲得いたしました。これらの経験は今後の更なる飛躍のための糧になると信じています。保護者の皆様も彼らのこれからの活躍にどうぞご期待下さい。

(3年学科担任:佐藤 尚)



舞台の背景画を制作している学生たち(3年メディア)



撮影したばかりの映像を確認している学生たち(3年メディア)



最終確認をしている役者班の学生たち(3年メディア)



## 各学年の話題(1年生)

早いもので、高専では初めての生活も残り2カ月ほどになりました。寮生活を通じて、お子様の成長をお感じになられた保護者も少ないのではないのでしょうか。学校ではインフルエンザによる学級閉鎖・学校閉鎖に伴い、11月中は5時間目や土曜日を使った補講が行われました。高専祭、中間試験とも重なり、学生の負担も大きかったものと思われます。冬休みは自宅でのんびり羽根を伸ばして、1月から学年末に向けてまた頑張ってもらいたいと思います。

(1年学科担任:西村篤)

## その他学科内の話題

### パソコン甲子園にて準グランプリ受賞

2009年11月14日、15日に福島県会津大学で開催された「パソコン甲子園2009」において、メ本校メディア情報工学科の学生が「デジタルコンテンツ部門」において準グランプリに輝きました。同コンテストは全国の高校生・高等専門学校生が優れたアイデアと表現力、プログラミング能力等を競い合うものであり、デジタルコンテンツ部門では「神秘的な生命体」と題したテーマに沿って、動画・静止画等の作品によりあらゆる生命体を表現するものです。準グランプリを受賞したのは、デジタルアート部学生3名(宮城将君、末次みなみさん、大城よしほさん(いずれもメディア情報工学科3年))によるチーム『Unlimited』が製作した『メバエ』です。この作品は主人公のロボットが植物を育てる様子を描いたものであり、種から発芽・開花し、花が枯れた後に新たな種を生み出すという植物の生命活動と、その植物を育てるロボットの感情の起伏を表現した作品となっています。学生達は、BGMや効果音に至るまで全てオリジナルの作品を作りたいというこだわりから、放課後はもちろん、休日も1日中作品の製作に励み、その努力が準グランプリという素晴らしい結果に結びつきました。今回のコンテストにおいて、他のチームから多くの刺激を受けた学生達は次回の作品製作に意欲を見せており、学生達の今後の活躍が期待されます。なお、同コンテストの「いちまいの絵CG部門」においても、本校学生(当真早智衣さん(メディア情報工学科1年))が製作した1枚のCG作品『創作世界で』が見事佳作に選ばれました。(デジタルアート部顧問:タンスリヤボン スリヨン)

### MDD ロボットチャレンジ 2009 にて受賞

2009年10月21日に第6回目の「MDDロボットチャレンジ2009」が、東京都・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。MDDロボットチャレンジは、情報技術やソフトウェア開発に関する教育と研究を目的として、小型飛行船を題材に行われる飛行船コンテストです。離陸してから、指定の立ち寄り点(2箇所)を通過して、ゴール着陸まで、人間を介さないで全て飛行船が自律飛行の競技です。沖縄高専のチーム「The Goships」(大城優・島袋誠也・比嘉恵介[メディア4年]備後博生[大城優・島袋誠也・比嘉恵介(メディア4年)備後博生(機械3年)])が唯一高専生のチームで、大学生また大学院生チームを相手に戦いぬぎ、今回、初参加でありながら、「飛行競技 奨励賞」を受賞しました。沖縄高専チームの特徴は、飛行船にカメラを搭載し、飛行しながら立ち寄り点やゴールを探索するというもので、斬新なアイデアと技術の高さに会場を驚かしました。沖縄高専または沖縄県のIT人材教育に関して良いアピール

が出来ました。(MDDロボットチャレンジ担当:タンスリヤボン・スリヨン、姉崎 隆)

### 沖縄デジタル映像祭 2009 で企業賞を受賞

メディア情報工学科5年生の兼城光さんが、卒業研究の一環として制作した映像作品が、沖縄デジタル映像祭 2009(総務省沖縄総合通信事務局など主催)のCM部門で企業賞などを受けました。兼城さんの授賞式は2009年12月10日(木)名桜大学にて行われ、主催者側から賞状や記念の品などが贈られました。兼城さんの受賞により、沖縄高専は沖縄デジタル映像祭において5年連続の受賞となりました。(兼城光さんの卒業研究担当:西村篤)

### 資格試験

10月18日(日)に実施された平成21年度秋期情報処理技術者試験にメディア情報工学科から46名(全体では57名)の学生が受験し、本学科から14名の学生が合格しました(合格率30.4%)。試験会場が那覇市と学校から遠いため、2台のバスで試験会場までの送迎を行うなど、学校として資格試験取得に積極的に支援を行いました。メディア情報工学科の合格者は次のとおりでした。

■IT パスポート(IP):安里 順貴、宮城 龍堯、澤岬 祐貴、前野 粒子、伊波 香純、屋良 朝紀、鉢嶺 清淳、上地 遥、新垣 杏里、以上9名

■基本情報技術者(FE)の合格者:瀧澤 勇生、大川 雄生、新地 彩乃、上原 佑介、西江 涼(以上5名)

(資格試験担当:タンスリヤボン スリヨン、正木 忠勝)



### 編集後記

学科だよりも平成21年度で4年目となりました。今年度からの新しい試みとして、発行頻度を年4回から2回に減らし、そのかわりに配布対象を1年から5年、さらに専攻科までの全学年の家庭に拡げて学校の様子をお届けすることになりました。スタッフは毎日忙殺されており、全学年で記事がそろわないこともあります。学校と家庭との信頼関係の構築のために、できる限りの取り組みを続けていきたいと思っております。学科だよりもに関するご意見ご要望などがありましたら、編集担当者まで遠慮なくお寄せ下さい。保護者の皆様からの投稿も歓迎します。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市宇辺野古 905  
沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 西村篤  
電話 0980-55-4003(代) ファクス 0980-55-4012(代)  
電子メール nisimura@okinawa-ct.ac.jp